

Ⅲ 資料

1. Living History (生きた歴史体感プログラム) 促進事業

(文化庁ホームページより)

(参考) Living History (生きた歴史体感プログラム) 促進事業



「Living History」とは？

Living History (生きた歴史体感プログラム) 促進事業とは、重要文化財や史跡を訪れた方が、往時のくらしや祭事などを体験し、日本の文化を理解・体感できるような、歴史的背景に基づいた復元行事や展示・体験事業などの取組です。

- ① 文化財の付加価値を高める…観光客が体感・体験できるよう、歴史的な出来事や当時の生活を再現
- ② 好循環の創出…文化財を核として賑わいを創出し、増えた収益を文化財の修理・整備や新たな企画に再投資

観光資源としての
更なる磨き上げ

【現状・課題】

- ・必ずしも観光客にとって往時が分かりやすい形で公開されていない
- ・民間事業者と連携しつつ、文化財の所有者・管理団体等が自律的に文化財の修理・整備を行うモデル作りが必要

【事業者】

- ・法人（地方公共団体、民間団体等）
- ・DMO等によって構成される協議会等

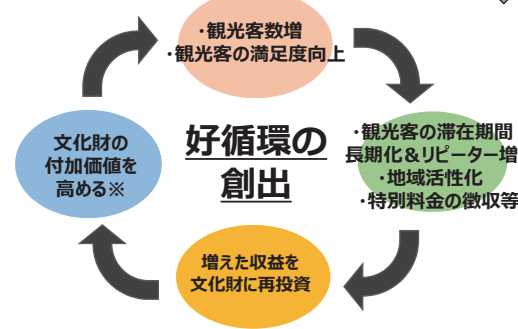
【主な要件】

- ・対象は、国指定等文化財を核としたもの
- ・対象となる文化財に、文献や絵画等の史料や研究資料等に基づいた付加価値を付与すること
- ・外国人観光客を含む参加者がわかりやすい解説を行うこと

【代表的な取組例】

- ・歴史的な出来事等、文献等の記録から再現した復元行事(AR等での再現を含む)
- ・歴史的な出来事等に基づく体験プログラム事業
(往時の衣装を復元し着用する体験、古代の食の復元等)
- ・当時の衣装や往時に使用された調度、道具類の復元及びこれらを活用した展示(AR等での再現を含む)等

【目指す姿】



(絵図より忠実に再現した大名行列の実施)



(中世の食事の体験)



(史跡における当時の様子やARを活用して体験)

(参考) Living History 促進事業 令和元年度 実施事例



姫路城を活かした歴史体感プログラム事業

＜姫路市＞
核となる文化財：姫路城

姫路城にて当時の歴史を体感するプログラムを開発する。姫路市では、姫路城の保存継承に努めるとともに、姫路城を中心とした都市型観光の推進と滞在型観光へのシフトを目指し取組を進めており、文化財の特別公開などを通じた誘客を進め、経済の好循環を図る。

＜実施概要＞ 姫路城西の丸化粧櫓を使用し、「千姫姿絵」の絵画等に基づき復元制作した衣装の展示、及び千姫・忠刻の簡易的な着物や甲冑の着装体験を実施。また、大名行列の再現にも着手している。



姫路城 侍体験 絵図より忠実に再現した大名行列の実施(写真は従来のイベント)

Living History in 京都・二条城～生きた歴史体感プログラム～

＜Living History in 京都・二条城 協議会＞
核となる文化財：旧二条離宮(二条城)

後水尾天皇の行幸が二条城で行われた。寛永期の文化を体験するプログラムを実施する。大政奉還などわが国の歴史の転換の舞台となっている二条城において、往時の様子を来城者に体感してもらい、日本の歴史・文化に対する正しい理解促進に寄与する。加えて、参加費等を徴収し、文化と経済の好循環を構築する。

＜実施概要＞『寛永茶会』と題し、後水尾天皇のサロンでなされたような「宮廷の美」を取り込んだ意匠を楽しむ茶会の実施、小笠原流弓馬術礼法一門による武家礼法の体感や番会の再現などを行った。



二条城 ニノ丸御殿 ニノ丸御殿 黒書院での茶会 小笠原流弓馬術礼法の実演

芸術を生み出す縄文文化体感プログラム事業

＜十日町市＞
核となる文化財：新潟県笹山遺跡出土土器(火焔型土器)

国宝火焔型土器の出土遺跡である笹山遺跡にて、縄文文化を体感するプログラムを開発する。2020年6月開館予定の新十日町市博物館と笹山遺跡を結んだコースを計画しており、体験プログラムにより外国人観光客を含めた誘客を図る。

＜実施概要＞ 火焔型土器の食物残渣等の最新研究に基づき、縄文時代の食料と料理を復元し、遺跡広場にて提供。食体験を通じて自然と一体だった縄文人の生活感を追体験する。復元竪穴住居内の内装を再現し、復元火焔型土器を使った調理実演を行う。その他、衣服着用体験や弓矢体験も開発する。(※コロナにより実施延期)



笹山遺跡 火焔型土器を使った調理体験

「文化立県」いしかわの文化資源活用推進プログラム事業

＜石川県＞
核となる文化財：兼六園、金沢城跡

来年の国立工芸館の移転と合わせ、兼六園、金沢城などの文化財を一体的に活かし、「加賀百万石の武家文化」の体験機会を提供する。文献等に基づいて茶会や能楽など当時の武家の儀礼・社交の世界を再現し、また茶器等の工芸文化の粋に触れる機会を提供し、石川県への誘客と観光客の満足度向上に相乗効果を発揮する。

＜実施概要＞ 歴代藩主が暮らした金沢城や藩主が愛でた兼六園の敷地内で、茶道文化が広く浸透した江戸時代前期の茶の湯を体験し、往時に思いを馳せ、加賀文化の魅力を感じていただくプログラムを実施。



金沢城跡 石川門 兼六園にて茶会の料理再現と食談義 金沢城公園・玉泉庵での茶の湯体験